# 佛國商法講義 三附録

特39-72
*1200800193073*
特39
72
二本
東京圖書館
新 門 一四一 函
一一 部 一 架
類 四九六八號

始

# 佛國商法講義第三之巻附録

小田切盛德　校訂

佛國商業會社法千八百六十七年第七月二十四日同廿九日決定

## 第一篇　株式ニテ組立タル差金會社ノ事

第一條　差金會社ニ於テ資本金二十萬「フラング」大抵四萬圓ニ至ラザル者ハ之ヲ百「フラング」大抵二十圓以上ノ株式札ニ分カチ二十萬「フラング」ニ過キタル者ハ之ヲ五百「フラング

明治九年圖書寮交付

大抵百圓以上ノ株式札ニ分ツベシ

己ニ會社資本金ノ全額ヲ登記シ且各金主ヨリ登記シタル株式金額ノ四分一ヲ入金スルニ非レハ會社全ク組立タルニ非ズ

全額ノ登記及ヒ四分一ノ入金アレバ支配人ヨリ公證人ヲシテ布告狀ヲ作ラシメ布告狀ニ左ノ二通ヲ添ヘ置クベシ

入金ノ詳細書一通

會社契約書一通

之レハ私ノ證書ナレハ二通ノ内一通ナリ布告狀ヲ作リタル公證人ニ非ズシテ他ノ公證人ニテ契約書ヲ作リシ時ハ公正契約書ノ副文一通ナリ

凡ソ契約ヲ私ニ爲ス時ハ社員ノ數ニ關セズ證書ノ本文二通ヲ作ルベシ一通ハ前項ニ述ル如ク全額ノ登記且四分一ノ入金ノ布告狀ニ添ヘ置キ一通ハ商會ノ元會社ニ止メ置クベシ

第二條 四分一ノ入金アリシ上ハ株式札ヲ賣買スルヲ得ベシ

第三條　株式札ノ半額ヲ入金シタル上ハ集議ノ決定ヲ歴テ持主札ト變スル丁ハ會社組立ノ規則中ニ記シタルトキハ之ヲ許スベシ
集議決定ノ上株式札或ハ故ノ如ク名前札ノマヽ或ハ持主札ト變ズト雖モ未タ半額ヲ入金セサル間ハ株式ヲ登記セシ本人ニテ株式ヲ賣渡シタル者ト株式ヲ買受タル者ト雙方共ニ集議決定ノ日ヨリ二ヶ年間ハ株式入金ノ義務ヲ負フベシ
第四條　社員中金錢ニ非サル品ヲ以テ持入物



〔ラッポール〕ヲ成ス人アリ或ハ一員ノ為メニ別段ノ利益ヲ與ヘントスル丁アレバ先ツ最初ノ集會ニテ持入物ノ價ヲ論シ又別段利益ヲ與フル所以ヲ論ズ第二ノ集會ニテ持入物ノ價且別段利益ヲ與フル丁ヲ決定シタル上始メテ會社ヲ組立テタルモノト為スベシ
其第二ノ集會ニテ右等ノ事件ヲ論決セントスル時ハ先ツ前會ニテ一ノ専理人ヲ任シ専理書ヲ板刻シ第二集會ノ五日前ニ之ヲ諸金主ノ望ニ應シ分與スベシ集議ハ出席シタル

金主多數ノ說ヲ以テ決定ス惣金主四分ノ一出席シ且出席人ハ會社資本金四分ノ一ニ當ルベシ社員ノ中金錢ニ非ザル持入物ヲ為シ或ハ別段ノ利益ヲ請フ者ハ是等ノ事ヲ論決スル集會ニ出席シ決定ノ人數ニ加ハルヿヲ得ズ若シ其集會ニテ右等ノ事ヲ決定セザレバ何人ニ對シテモ此會社ハ未タ立タザル者トス又縱令ヒ已ニ集會決定アリト雖圧姦計ニ付テノ訴訟ヲ起スヿニハ妨ゲ無シ金錢ニ非ザル持入物若シ惣社員ノ共有スル物品ナレバ本條ニ述ル處ノ持入物協議ノ規則ヲ受ケズ

第五條　株式差金會社ニハ一ノ監督局ヲ置キ其局員ハ金主ノ內ヨリ選擧シテ三名ヨリ少カラザルモノトス局員ハ會社ヲ組立テ未タ社業ヲ始メザル時惣金主ノ集會ニテ之ヲ任スベシ此局ハ會社ノ組立規則ニ定メタル時限ニ順ヒ再選ス但シ初年ノ監督局ハ一年ヲ過レバ必ス之ヲ再選スベシ

第六條　初年ノ監督局ハ委任ヲ受ケシ後先ツ

本篇始メノ五條中ニ述ベタル規則ヲ會社ヨリ守リタルヤヲ吟味スベシ

第七條　本篇第一條ヨリ第五條中ノ規則ヲ守ラズシテ組立タル株式差金會社ハ惣テ外人ヨリ之ヲ無ト為スヘシ但シ社員ヨリ己レノ爲メニ之ヲ外人ヘ云ヒ立ツルヿヲ得ズ

第八條　前條ノ規則ニ述ル如ク會社ノ消滅スル時ハ監督諸員ハ支配人ト共ニ會社中ニ對シ外人ニ對シ會社ノ消滅ニ付テ生シタル損害ヲ償ハシムルヿアリ

又金錢ニ非ザル持入物ヲ為シ或ハ別段ノ利益ヲ請フ人ハ會社若シ第四條ノ規則ヲ守ラズ消滅スル時ハ當人モ亦タ前項ノ義務ヲ受ルヿアリ

第九條　會社支配人ヨリ為シタル支配方一切ニ關スル事ハ監督諸員ニ於テ其過チヲ受ケズ尋常法律ニテ代人ノ規則ヲ定ムル如ク監督員ハ會社惣員ノ代人ナレハ其代理ノ事務ヲ行フ為メ己レヨリ成シタル過チハ自カラ之ヲ償フベシ

第十條　監督局ハ會社ノ諸帳金函且ツ現在金ヲ撿査シ毎年大集會ノ時ニ當リ其年ノ惣計(アンベンテール)上ニ不規則ナルヿ又ハ不當ノヿアレバ之ヲ云ヒ出シ或ハ支配人ノ定メタル利益分配ニ不服スベキ所以アレバ之ヲ云ヒ出ス為メニ一ノ調書ヲ作リ集會ヘ持来ルベシ其利益分配若シ惣計無キ時或ハ惣計ノ外ヨリ出デタル時ニ非ザレバ己ニ株主ヘ分配シタル上ハ此利益金ノ一部ヲ株主ヨリ取リ返スヿヲ得ズ惣計ヲ成サヽル時或ハ惣計外ヨリ利益金ヲ分配シタル時ヨリ其分配ノ日ヨリ五年ヲ過レハ株主ニ對シ右ノ取リ返シノ手續ヲ為スヲ得ズ

但シ本法布告ノ節己ニ此ノ期満得免(プレスクリプシヨン)ノ期限始マリ居且ツ舊法ニ依レバ猶ホ五年餘ノ時間残ルモノハ本法布告ノ日ヨリ五年ヲ以テ期満得免ノ期限トス

第十一條　監督局ハ集議ヲ招會シ集議ノ説ヲ聞テ會社ノ消滅ヲ云ヒ立ツル權ヲ有ス

第十二條　集議前十五日ヨリ惣テノ株主ハ本(モト)

會社ヘ到リ或ハ代人ヲ遣シテ會社ノ帳簿惣計冊且監督局ノ調書ヲ傳知スルヲ得

第十三條　本法第一二三條ノ規則ニ反シ組立タル會社ノ株式札ヲ賣ル者ハ五百「フランク」〔大抵百圓〕ヨリ一萬「フランク」〔大抵二千圓〕ノ過料ヲ以テ罰ス其外右ノ過料ヲ以テ罰スベキ者ハ

監督局ノ未タ立タザル前ニ社業ヲ始ムル支配人

又ハ集議ノ時説ノ多數ヲ得ン爲メニ他人ノ株式札ヲ借リテ己レ其札ノ持主ト稱シ真ノ社員ニ非ズシテ集議ニ加ワル人〔但シ過料ノ外別ニ此人ニ對シテ會社或ハ外人ヨリ償金ヲ請フ事ヲ得ル〕是ナリ

右等ノ人ニ對シテハ別ニ十五日ヨリ六ヶ月ノ入獄ヲ裁判所ヨリ言渡スヿアリ

第十四條　本法ノ第一二三條ノ規則ニ反シタル價ヒ或ハ規則ニ反シタル作リ方ノ株式札又ハ第二條ニ命スル如ク四分一ノ金高ヲ未タ會社ニ拂ハザル株式札ヲ賣買スル者ハ五

百「フランク」ヨリ一萬フランク」ノ過料ヲ以テ罰スベシ右等ノ賣買ニ加ワリ或ハ右等ノ株式札ノ價ヲ布告スル者ハ同一ノ過料ヲ以テ罰スヘシ

第十五條 左ニ記スル處ノ人ハ刑法第四百五條ノ刑ヲ以テ罰シ且惣テ「エスクリー」(僞ヲ用ヒ人ヲシテ金ヲ出サシメ其金ヲ竊取ル)ノ罪犯ト為ルベキ所行アレバ是ヲモ一々第四百五條ニ順ヒ罰スベシ

第一 株式ノ登記或ハ入金ヲ外人ヘ勸ムル為メニ已レノ登記入金ヲ僞ワリ又ハ未タ有ラザル登記入金ヲ知リナガラ布告シ且其他ノ詐僞ヲ世上ニ布告シタル者

第二 株式ノ登記入金ヲ得ル為メニ已レ事實ヲ知リナガラ會社中ニ在ラザル人名ヲ布告シ此人ニ一ノ名義ヲ付テ會社ニ屬セシ如ク外人ヲシテ信セシメシ者

第三 支配人トシテ惣計ヲ成サズ或ハ詐僞ノ惣計ヲ為シテ不當ノ利益ヲ云ヒ立テ之ヲ株主ヘ分配シタル者

但シ監督諸員ハ支配人罪犯ノ過チヲ受ケズ

第十六條 第十三十四十五條ニ述ベタル諸罪犯ニハ刑法第四百六十三條ノ減殺方ヲ用ユルコトヲ許ス

第十七條 支配人或ハ監督諸員ニ對シ數人ノ株主原告ト為リ或ハ被告ト為リ一ノ訴訟ヲ為ス時ハ株主集合シ若シ資本金二十分ノ一ニ當ラバ一名或ハ數名ノ代人ヲ任シ數人ノ代人トシテ此訴訟ヲ取扱シム

但シ各株主ハ別ニ已ノ名ヲ以テ之ヲ訴訟スルコトヲ得ベシ

第十八條 千八百五十六年六月十七日ノ法ヨリ以前ニ組立テ而シテ本法第十五條ノ規則ニ當ラザル會社ハ今ヨリ六ケ月ノ間ニ前ノ條々ニ順ヒ一ノ監督局ヲ設クベシ

若シ此ノ期限中ニ監督局ヲ立テザル時ハ惣株主ハ會社ヲ消滅セシムルノ權利ヲ得ベシ

第十九條 本法ノ布告以前ヨリ成リ来リタル株式差金會社ハ若シ其組立規則中ニテ政府ノ許可ヲ得テ無名會社ト變體スルヲ許スト

キハ本法第二篇ノ條々ニ順ヒ無名會社ト變スルヲ得ベシ但シ會社ノ組立規則中ニテ變体ノ為メニ設ケタル條々ニ反ス可カラス

第二十條　千八百五十六年六月十七日ノ法ヲ廢ス

## 第二篇　無名會社ノ事

第二十一條　今ヨリ以來無名會社ハ政府ノ許可ヲ受ケズ組立ツルヿヲ得ベシ

無名會社ハ社員ノ數ニ關セズ私ノ證書本文二通ヲ以テ契約スルヿヲ得ベシ

但シ此會社ハ商法第二十九條第三十條第三十二條第三十三條第三十四條第三十六條ノ規則及ヒ本篇中ノ諸規則ニ從フベシ

第二十二條　無名會社ノ支配方ハ社員ノ内ヨリ一名或ハ數名ヲ選ミ一時ノ代理人ト為シ或ハ給料ヲ與ヘ或ハ給料ヲ與ヘズ且時ニ依リ免職セシム

右ノ代理人若シ會社組立規則ニテ之ヲ許ストキハ代理人ノ内ニテ頭取一名ヲ任シ或ハ會社外ノ人ヲ此任ニ當ス然ル時ハ外人頭取

ノ所行ニ付テハ代理人ヨリ會社ニ對シ其過チヲ受クベシ

第二十三條　社員若シ七名ニ至ラザレハ會社ヲ組立ツベカラス

第二十四條　無名會社ハ本法第一二三四條ノ規則ヲ守ルベシ

但シ第一條ニ云フ所ノ支配人ノ布告ハ無名會社ノ發起人ヨリ之ヲ作リ種々ノ證書ヲ附屬シテ最初ノ集議ニ差出シ其真正ナルヤ否ヤヲ吟味セシム

第二十五條　會社資本金ノ登記及ヒ四分一ノ入金ノ布告ヲ為セバ先ツ何事ニモ關セス一ノ集議ヲ招會ス此集議ニテ初年ノ支配人ヲ選ミ且第三十二條ニ云フ所ノ專理人ヲモ任スベシ此支配人ハ六ヶ年以上ノ在職ヲ命ス可カラス又會社組立規則ニ依テハ六ヶ年後ニ至リ改メテ再選スルヿヲ得ベシ

組立規則中ニテ已ニ支配人ヲ撰擧シテ集議ノ決定ヲ要セザルカ規則ノ定ムル所ニ依ルベシ然ル時ハ此支配人ハ三ヶ年以上ノ在

職ヲ任ス可カラス
支配人ヲ集議ニテ委任シタルヿ且其集議ハ專理人ノ出席シタルヿヲ一ノ調書ニ記存ス此時ヨリ始メテ會社組立タルト爲スベシ

第二十六條　各支配人何程ノ株式札ヲ所有スベキヤハ組立規則ニテ定ム
支配向ノ過チハ假令一人ノ支配人ヨリ爲シタルト雖モ惣支配人ノ株式札ヲ以テ之ヲ償フベシ
支配人ノ株式札ハ名前札ニシテ賣買ヲ許サス且之レニ會社ノ一印ヲ押シ會社ノ金函ニ藏メ置クヘシ

第二十七條　毎年組立規則ヨリ定メタル時ニ當リ少ナクモ一度集議ヲ召スベシ
集議ノ時ハ或ハ自カラ出席シ或ハ代人ヲ以テ出席スルモ集議ニ加ハル爲ニハ各員何許ノ株式札ヲ有スベキヤ又何許ノ株式札ヲ有スル者ハ幾人分ノ説ヲ立ツルヤノヿハ惣テ組立規則ニ定メタル札數ニ循フベシ
但シ特入リ物ヲ吟味シ最初ノ支配人ヲ任シ

或ハ第二十四條ノ第二項ニ云フ如ク會社發起人ノ布告ヲ吟味スル爲ニ招會シタル集議ニ於テハ凡ソ株式主ハ組立規則ニテ定メタル札數ヲ以テ多少ノ說ヲ立ツルト雖𪜈一人ニテ十說ヨリ以上ヲ立ツルヲ得ズ

第二十八條　凡ソ集議ニ於テハ說ノ多數ヲ以テ論決スベシ

其時一ノ出席帳ヲ作リ出席株主ノ名前又ハ住所且各株主ノ有スル處ノ株式札ノ數ヲ記スベシ

此出席帳ヲ集議中ニテ吟味シテ會社ノ本局ニ備ヘ置キ望ミニ應シ之ヲ衆人ニ傳知セシム

第二十九條　次ギノ二條ニ述フル所ロノ外凡ソ集議決論スル時ハ出席株主ノ數少クモ會社資本金ノ四分一ニ當ルベシ

然レ𪜈集議中若シ此數ヲ得ザレバ組立規則ニテ定メタル日限方法ニ循ヒ更ニ一集議ヲ招會スベシ此第二ノ集議ニハ出席株主ノ數資本金ノ幾分ニ當ルヲ論セズ決論スルヿヲ

得ベシ

第三十條　持入リ物ヲ吟味シ最初ノ支配人ヲ任シ或ハ第二十四條第二項ニ云フ如ク會社發起人ノ布告ヲ吟味スル為ニ招會シタル集議ニ於テハ出席株主ノ數少クㇳモ資本金ノ一半ハ集議ニテ吟味スル所ロノ持入リ物ヲ取除ケテ計算ス

若シ集議ニ於テ資本金ノ一半ニ當ル株主出席セザルトキハ此集議ニ於テハ唯タ假ノ決論ヲ爲スナリ然ルトキハ新タニ一ノ集議ヲ招會ス第二ノ集議ヨリ一ケ月以前ニ再ヒ八日ヲ隔テ公告新聞紙ニ記載シテ假ノ決論ヲ諸株主ニ報知ス第二ノ集議ニ於テハ出席人ノ數資本金五分ノ一ニ當リ且最初ノ集議ノ假決論ヲ承諾セハ之レヲ已成ノ決論ト為ス

第三十一條　組立規則ヲ改正シ或ハ會社興業ノ期限ヲ增減スル為メニ招會シタル集議ニ於テハ出席株主ノ數若シ資本金ノ一半ニ當セザレバ集議決論ヲ為スヿヲ得ズ

第三十二條　毎年ノ集議ニ於テ社員ノ中又ハ

社外ノ人ヲ選ミ一名或ハ数名ノ専理人ヲ任ズ此専理人ハ翌年ノ集議ニ至リ會社ノ摸様積書且支配人ニテ作リタル出入計算ヲ一ノ調書ニ記シ之ヲ持出スベシ

積書及ヒ出入計筭ニ付テノ決論ハ専理人ノ調書無キ片ハ之ヲ効無シトス

若シ集議ニテ任シタル専理人無ク或ハ任ゼラレタル専理人ノ中一名又数名出席スル能ハス若クハ出席スルヿヲ欲セサル片ハ集議ニ於テ直チニ専理人ヲ任スベシ然ラザル片ハ都テ會社ニ関係スル人ハ會社所在ノ商法裁判所長官ニ請求シテ支配人ヲ呼出シ裁判長官ノ命ヲ以テ専理人ヲ任スベシ

第三十三條　毎年集議ノ前半年ノ間ニ専理人ニテ會社一般ノ便益ナリト思量スルトキハ會社ノ諸帳ヲ一見シテ社中ノ事業ヲ吟味スルノ權利ヲ有ス且ツ専理人ハ急速ノ場合ニ臨ミ臨時ニ集議ヲ招會スルヿヲ得ベシ

第三十四條　凡ソ無名會社ニ於テハ毎半年ニ金額出入ノ略表ヲ作リ之ヲ専理人ニ指出ス

べシ

其他商法第九條ニ循ヒ毎一年ニ會社ノ出入金額且ツ動産不動産ヲ惣テ記載シテ一ノ惣計誌ヲ作ルベシ

集議ヨリ四十日前ニ惣計誌積書損益計誌ヲ專理人ヘ渡スベシ但シ專理人ハ此集議ニ出席スベシ

第三十五條　惣テノ株主ハ集議招會ヨリ十五日前ニ會社本局ニ至リ惣計誌且株主名表ヲ一見シ且惣計誌及ヒ調書ヲ略書シタル積書ノ寫本ヲ受ルコトヲ得ベシ

第三十六條　毎年利益金額ノ中少ナクトモ二十分ノ一ヲ除キ之ヲ集メテ會社ノ豫備金ヲ作ルベシ

但シ右ノ豫備金若シ會社資本金十分ノ一ニ至レハ毎年ノ豫備金ヲ止ム

第三十七條　會社若シ資本金四分ノ三ヲ失ナヘハ支配人ヨリ惣株主ノ集議ヲ招會シテ會社ヲ消滅スベキヤ否ヤヲ論決ス而シテ此集議ノ決論ヲ公ケニ布告スベシ

支配人ヨリ集議ヲ招會セズ或ハ招會シタル集議ニ於テ規則ニ循ヒ一ノ決論ヲ成スヿ能ハザルトキハ凡ソ會社ニ關係アル者ハ商法裁判所ニ至リ會社ノ消滅ヲ請求スルヿヲ得ヘシ

第三十八條　社員若シ七名以下ニ減シテ一年ヲ過レハ凡ソ會社ニ關係アルモノハ會社ノ消滅ヲ請求スルヿヲ得ベシ

第三十九條　無名會社ハ第十七條ノ規則ヲ守ルベシ



第四十條　凡ソ支配人ハ會社或ハ會社ノ代人ヨリノ賣買及ヒ諸引合ノ中ヘ加リ假令自カラ之ヲ為サズトモ會社ニ對シタル關係ヲ為スヿヲ禁ス

但シ右等ノ事件ノ為メ別段集議ノ允許ヲ得レハ支配人モ之ヲ為スヿヲ得ベシ然ルトキハ每年ノ集議ニ至リ會社ト支配人トノ賣買ノ始末ヲ集議ニ於テ報知スベシ

第四十一條　第二十二條第二十三條第二十四條第二十五條ノ規則ヲ守ラズシテ組立テタ

ル無名會社ハ都テ會社ニ關係アル人ヨリ無ト看ルベシ

第四十二條 前條ノ規則ニ云フ如ク會社及ヒ集議ノ決論ニテ若シ効無シト見ルトキハ發起人且ツ其時ノ支配人ハ義務ヲ連帶シテ外人ニ對シ過チヲ償フベシ又各株主ヨリ彼等ヲ責ムルノ權アリ

持入物或ハ別段ノ利益ヲ有スル人ヨリ第二十四條ニ循ハス持入物或ハ別段ノ利益ヲ集議中ニテ吟味ノ決論ヲ受ケザリシ者ハ前項ニ云フ如ク義務ヲ連帶シテ其過チヲ負フヘシ

第四十三條 專理人ヨリ會社ニ對シ過チヲ償フノ方法ハ尋常代理人ノ規則ヲ以テ定ムベシ

第四十四條 會社ノ支配人若シ本法ノ諸條ニ反シ或ハ詐僞ノ利益ヲ分配シ支配方ニテ罪犯アルトキハ或ハ各人別或ハ支配方惣員ニテ義務ヲ連帶シ時トシテハ會社ニ對シ時トシテハ外人ニ對シ一般法律ノ規則ニ從ヒ支配

人ヨリ其過チヲ償フベシ
第四十五條 凡ソ無名會社ハ本法布告ノ時已ニ組立テ若クハ未タ組立テザルヲ論セス第十三條第十四條第十五條第十六條ノ規則ニ従フベシ
支配人ニテ惣計誌ヲ作ラズ或ハ詐偽ノ惣計誌ヲ作リテ詐偽ノ利益金ヲ分配シタル者ハ本法差金會社ノ第十五條ノ第三項ニ於ケル刑ヲ以テ罰スベシ
又第十條ノ末ノ三項中ノ規則モ無名會社ニ當ツヘシ
第四十六條 既ニ組立タル無名會社ハ其興業ノ期限中ハ従前ノ規則ニ従フベシ
但シ政府ノ許可ヲ得且ツ各方法ニ依テ其組立規則ヲ改革スルトキハ本法ニ定メタル無名會社ト變スルヿヲ得ベシ
第四十七條 義務ニ制限アル會社ハ會社ノ組立規則中ノ改革方法ニ循ヘハ本法ニ定メタル無名會社ト變スルヿヲ得ヘシ
商法第三十一條第三十七條第四十條且ツ千

八百六十三年五月二十三日布告スル所ロノ
義務改正ノ會社法ヲ廢ス



# 第三巻

## 資本金増減會社規則

第四十八條 社員ヨリ漸々入金スルヿニ付又ハ新ニ社員ヲ加フルヿニ付會社ノ資金ヲ増スルヿ及ヒ社員ヨリ入レタル全額又ハ幾分ヲ受戻スルヿニヨリ社ノ資金ヲ減スルヿヲ社則中ニ於テ定ムルヿヲ得ベシ

右ノ契約ヲ社則中ニ設ケタル會社ハ特ニ其社ノ種類ニヨリ適宜ニ定メタル一般ノ規則ニ係ハラズ總テ左ノ條々ニ從フベシ

第四十九條　會社ノ規則中ニ定ムル所ノ資金ハ二十萬「フランク」ヨリ過越スベカラズ
資本金ハ年々ノ總集會ノ決議ニヨリ増加スルヿヲ得ベシ但シ増加スル毎ニ其金額ハ二十萬「フランク」ヨリ過越スベカラズ
第五十條　株式札ハ假令ヒ資金十分集マリタルト雖圧名前札タルベシ但シ毎札五十フランク」ヨリ少ナカル可カラス
右株式札ハ會社ノ組立確成シタル上ニアラサレハ賣買スルヲ得ベカラズ



株式札ヲ賣買スルトキハ會社ノ簿帳ニ姓名ノ書キ替ヘヲ爲サヾルヲ得ス會社ノ支配人及ヒ總集會ハ社則ニヨリ株札賣買ニ付姓名ノ書キ替ヘヲ拒ムノ權ヲ有スベシ
第五十一條　第四十八條ニ許シタル差入金請ケ戾シニ付社則ニ於テ資金ノ何許ヨリ以下ハ減スベカラザル所ノ金額ヲ確定スベシ其減スベカラザル金額ハ資金ノ十分ノ一ヨリ下ル可カラズ
會社ハ資金額ノ十分ノ一集マリタル上ニア

ラザレバ其組立ヲ確成シタルモノト為ス可カラス

第五十二條　組立規則ニ反シタル契約ヲ為シタルヿ無キ片ハ各社員自ラ尤當ナリト思量セハ退社スルヿヲ得ベシ然レ氏前條ノ首節ニ適當ノ場合ハ例外ト為ベシ

總集會ハ前以テ社則變更ノタメ定メタル同議ノ多數ニ於テ社員ノ一人又ハ二人以上退社スルヿニ付決定スルノ權ヲ有スヘキ旨ヲ社則中ニ約定スルヲ得ベシ



社員ハ私意ニテ退社スルトモ又ハ總集會ノ決議ニ因テ社ヲ除カル、トモ他ノ社員及社外ノ人ニ對シテ退社スルトキニ存シタル總テノ義務ヲ五年間負フベシ

第五十二條　何レノ種類ノ會社ト雖氏裁判所、ニ出ルトキハ支配人ニテ總社員ノ代人ヲ勤ムベシ

第五十四條　社員中ノ人死去スルカ又ハ退社スルカ又ハ行權ノ禁ヲ受クルカ又ハ身代限ヲ受クルトモ會社ハ全然ト取續クベシ

# 第四巻　會社契約書公告規則

第五十五條　都テ商法會社ヲ組立ツルトキハ其組立ヨリ一ヶ月内ニ私ノ證書ナレバ二通公正ノ證書ナレバ寫一通ヲ以テ會社組立証書ヲ其地ノ區裁判所及ヒ商法裁判所ノ書記局ニ差出スベシ

株式差金會社及無名會社組立ノ證書ニハ左ノ書類ヲ添ヘ出スベシ

〔第一〕會社ノ資本金額ノ登記及ヒ資本金四

分ノ一差入レ濟ヲ撿證シタル公正ノ證
書ノ寫一通
第二 第四條及ヒ第二十四條ニ定メタル場
合ニ於テ總集會ニテ為シタル決議ヲ證
シタル寫一通
右ノ外無名會社ナルトキハ株主ノ住所身
分姓名及各株主ノ持タル株數等格法ノ
如ク證撿シタル目録ヲ會社組立証書ニ
添ヘ出スベシ
第五十六條 會社組立證書ノ抄出書及ヒ其添

書類モ又タ一ケ月ノ期限内ニ官ノ告達ヲ梓
行スルタメニ定メタル新聞紙中ニ出シ公告
ヲ為スベシ
新聞紙ニ出板スベキ文面ハ邑長ヨリ撿印ヲ
得タル活版師ノ撿査シタル新聞紙ノ原書ニ
ヨツテ正誤スベシ且ツ其日附ヨリ三ケ月ノ
内ニ簿冊ニ登記スベシ
前條及ヒ此條ニ記シタル格法ハ注意シテ具
備スベシ否ラザルトキハ有益ノ人ニ對シテ効
無カルベシ然トモ此等ノ格法ノ一ヲ遺漏スル

トキハ社員ヨリ他人ニ對シテ之ヲ抗拒スルヿヲ得ス
第五十七條　抄出書ニハ左ノ件々ヲ包含スベシ
○株主又ハ金主ニアラザル社員ノ姓名
○會社ノ名前（社員中ノ一人又ハ二人ノ名ヲ以テ會社ノ名前ニ付タルヲ云フ或ハ「デノンニシアシヨン、アドプテー」ニ人名アラザル社名ヲ云フ）
○會社所在ノ地名
○會社ノ爲メニ商事ヲ擔當シ且支配調印スルヿニ付允許ヲ得タル社員ノ姓名
○會社ノ資金額及ヒ株主又ハ金主ヨリ集メタル金額又ハ集マルベキ金額
○會社ヲ開キ始ムル期及ヒ閉チ終ハル期並ニ區裁判所及ヒ商法裁判所ノ書記局ニ書類ヲ差出シタル月日
第五十八條　抄出書ニハ合名會社ナリヤ尋常ノ差金會社ナリヤ株主差金會社ナリヤ無名會社ナリヤ資本金增減會社ナリヤヲ記スベシ若シ無名會社ナルトキハ抄出書ニ社ノ資本

金額及ヒ物件額並ニ利益金ノ内ヨリ毎年豫備金トシテ除キ置クベキ金額ヲ記スベシ
若シ資本金増減會社ナルトキハ抄出書ニ資本金ノ何許ヨリ以下ハ減少スベカラザル所ノ限界ヲ記スベシ

第五十九條　若シ會社數分局ヲ諸郡中ニ設クルトキハ第五十五條ニ記シタル證書差出ノコ及ヒ第五十六條ニ記シタル公告ノ手續ハ分局ヲ設ケタル郡毎ニ格法ノ如ク行フベシ
但シ數郡ニ區分シタル時ニ於テハ其本局ノ有ル區ノ裁判所ノ書記局ニノミ右ノ手續ヲ爲スベシ

第六十條　書記局ニ差出スベキ證書及ヒ其他ノ書類ノ抄出書若シ公正ノ證書ナレバ公證人之レニ調印シ又タ私ノ證書ナレハ合名會社ハ其社員ニテ調印シ差金會社及ヒ無名會社ハ差配人又ハ支配人之ニ調印ス

第六十一條　左ノ件々ハ第五十五條及ヒ五十六條ニ記シタル格法及ヒ罰法ニ從フベシ
○都テノ證書及ヒ社則變更改正ニ付テノ決

議

○定期外會社ノ取續
○期限内ニ社ヲ解クヿ及ヒ其計算ノ方法
○社員ノ入替リ又ハ社員ノ退社及ヒ會社ノ名前變更

第十九條第三十七條第四十六條第四十七條及ヒ第四十九條以下ニ定メタル場合ニ爲シタル決議モ亦タ第五十五條及ヒ第五十六條ノ規則ニ從フベシ

第六十二條 第四十八條中ニ記シタル場合ノ會社ノ資本金増益又ハ減少ヲ確證シタル證書或ハ社員ノ退社ハ書記局ニ差出スニ及ハス及ヒ公布スルヿノ格法ニ従フニ及ハズ但シ第五十二條ノ場合ニ關係スル差配人又ハ支配人ハ否ラズ

第六十三條 若シ株式差金會社又ハ無名會社ナル片ハ何人タリトモ區裁判所及ヒ商法裁判所ニ差出シアル書類ヲ借覧スルヿヲ得又ハ手数料ヲ出シテ其本書ヲ主掌シタル公記人又ハ書記役ヨリ其寫書又ハ抄出書ヲ請ヒ

受ルヿヲ得ベシ

又何人タリトモ一「フランク」ヨリ多カラザル金額ヲ會社ニ拂ヒ社則ノ慥カナル寫書ヲ得ンヿヲ要ムルヲ得ベシ

都テ書記局ニ差出シタル書類ハ會社ノ諸局中ニ明贖ニ貼附スルヿヲ為スベシ

第六十四條　無名會社又ハ株式差金會社ヨリ出シタル出板ノ證書目錄（ファクチュール）類告知（アノンス）公告（プユブリカシヨ）及ヒ其他ノ書類中ニハ無名會社又ハ株式差金會社ト記シタル字ノ前又ハ後ニ社ノ稱號人名ニアラザル稱名ヲ記シ且ツ資本金額ヲ記載スベシ○若シ會社ニ於テ第四十八條ニ許シタル方法ヲ用ユル片ハ資本金增減ノ語ヲ加ヘテ其摸樣ヲ記スベシ

前ニ記シタル規則ニ違犯シタル片ハ五十「フランク」ヨリ千「フランク」マデノ罰金ニ處スベシ

## 第五巻

「トンチン」會社（數人ニテ社ヲ組ミ各々若干ノ金ヲ投集レ尚活残リタル者全額ヲ得ル約定ヲ為ス會社ヲ云）及ヒ請合會社（ソシエテーダシュランス）

第六十六條 「トンチン」ノ組合（アソシヤシヨン）及ヒ生命請合又ハ互ヒニ相請合又ハ「プリーム」（所有物請合ノタノ金額ヲ投入スルヿ）會社ヲ設立スルニハ政府ノ許可及ヒ監督ヲ請ケザルベカラズ○其他ノ請合會社ハ政府ノ許可ヲ得ズシテ設立スルヿヲ得ベシ此等ノ會社ヲ組立得ベキ契約ハ行政規則ニ因テ定メラルベシ

第六十七條　前條ノ第二節ニ掲載シタル現今行ハル、處ノ請合會社ハ政府ノ允許ヲ得ズシテ社則變更ニ付前ニ定メタル格法及ヒ契約ニ従ヒ行政ノ規則ニ因テ定ムル所ノ制度ヲ以テ組立ツベシ

佛國商法講義巻之三附録終

御用御書物師
日本橋西河岸町　須原鐵二

賣弘所
淺草茅町二丁目　北澤伊八

終